

# センター長就任にあたって

宮城教育大学情報処理センター長 鵜川 義弘

4月に情報処理センター長に就任しました鵜川です。前任の小野センター長には、対外的な難しい部分をお願いしており、その部分を私が担えるよう微力ながら頑張りたいと思っています。センター長は、職指定で、大学の最高情報責任者補佐も担うことになっており、こちらも重い職責と考えています。そのため、これまでと同様、いや、なおいっそう、センター職員、運営委員、学内の皆様にお助けいただくことが重要と思われまます。

特に、最近のセキュリティ対策については、フィッシング詐欺に遭遇し、利用者のパスワードが盗まれ、大量の迷惑メールがばらまかれる事件が一度ならずありました。結果として、文部科学省、他大学から宮城教育大学のメールを受け取ってもらえない、受け取っても迷惑メールフォルダーに入れられるという事態となりました。大学には学生の成績など重要な個人情報があり、パスワードが盗まれることは、これらの情報の流出につながる大変危険なことと考えます。教職員自身ですぐにもできるセキュリティ対策として、個人情報が入ったファイルに各部局で定めたパスワードをかけるという対策があり、これによれば万が一ファイルが流出しても開かれることはないという、簡単ですが十分な効果が見込める方法があります。センターでもさらなる安全対策や、利用者への研修会、講習会の実施などを行ないたいと考えています。

来年度に向けては、大学のネットワークがSINET5へ移行することや、2017年3月導入の次期システムの仕様策定があります。より良く、安全に、安定したサービスを提供したいと考えていますので、皆様のご協力、ご支援をよろしく申し上げます。